

みんなでつくる、
ミライのふるさと。



豊田市制70周年記念誌 概要版



市制70周年を記念して制作したロゴマーク

ベースデザインに対する色や模様を市民から募集し、応募作品699点の中から選定。
ミライに向けて大きな花を開かせていくことと、豊田市の明るさや優しさを表現した
デザインとなっています。



記念誌本編、記念誌概要版（多言語訳）ははこちらからご覧ください。
Full (Japanese) and digest (multi-language) versions of the memorial magazine are available here.
As versões completa (em japonês) e resumida (multilíngue) da revista memorial estão disponíveis aqui.
Aqui están disponibles las versiones completa (japonés) y resumida (en varios idiomas) de la revista conmemorativa.
Ang mga kumpolto (Hapon) at buod (maraming wika) na bersyon ng alaang magasin ay makikita dito.
Phiên bản đầy đủ (Tiếng Nhật) và bản tóm tắt (đa ngôn ngữ) của tạp chí tưởng niệm có sẵn tại đây.
在此获取纪念刊的完整版本（日语）和摘要版本（多语言）。



豊田市制70周年記念誌の発行に寄せて



豊田市長
太田 稔彦

豊田市は、1951（昭和26）年3月、県下で12番目に「挙母市」として市制を施行し、今年で70周年という記念すべき年を迎えました。

本市は、2005（平成17）年4月に7市町村が合併し、世界をリードするものづくり中枢都市としての顔を持つ一方、地域のおよそ7割を森林が占めるなど、様々な可能性を秘めた全国有数の都市へと発展を遂げました。今日の私たちの暮らしは、先人の礎のもと育まれ、築かれたものであり、これまでまちづくりに取り組まれた多くの皆様に、心より感謝申し上げます。

この度、本市のこれまでの歩みを振り返り、次代につなげていくため、豊

田市制70周年記念誌「みんなでつくる、ミライのふるさと。」を発行いたしました。記念誌をご覧いただいた皆様が「WE LOVE とよた」の思いのもと、より一層豊田市への愛着と誇りを持っていただけるきっかけとなれば幸いです。

70周年という節目を新たなスタートとし、本市の新しい未来に向かうさらなる一步を踏み出してまいります。



豊田市議会議長
山田 主成

豊田市制施行70周年、誠におめでとうございます。この記念すべきご慶事を、42万市民の皆様とともにお祝いできることを大変喜ばしく思います。

本市は、1951（昭和26）年に市制施行し、幾度かの市町村合併をして、今では世界に誇れるものづくり産業と、豊かな自然や文化、歴史など多くの地域資源に恵まれた都市に発展しました。

今までの豊田市の発展は、先人たちのたゆまぬ努力と情熱があつたからこそであり、心から敬意を表し、深く感謝を申し上げます。また市民の皆様におかれましては、新しい時代にふさわしい豊田市発展のために、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

市議会といたしましても、市政発展にご尽力いただいた先人たちの志を忘ることなく、市民の皆様の負託に応えるため、今後も安全・安心で

住みよいまちの発展に寄与するように全精力を傾けて取り組んでまいります。

結びに、市制施行70周年を契機に、豊田市のさらなる発展を祈念申し上げ、発行に寄せるあいさつといたします。

私たち一人一人の挑戦が、ふるさとのミライを輝かせる。

豊田市制70周年の記念対談にお迎えしたのは、光触媒研究の第一人者として活躍されている藤嶋昭さんです。豊田市で幼少期を過ごした藤嶋さんは2021(令和3)年3月、豊田市名誉市民として推挙されました。対談では「世の中に役立つこと」を探求し続ける研究者としての信念、次代を担う子どもたちへの思いなどとともに、ふるさとの思い出やこれからの豊田市について太田稔彦市長とお話しいただきました。



コロナ禍において注目される光触媒のパワー

太田市長 この度は、豊田市名誉市民の称号をお受けくださって、ありがとうございます。藤嶋さん こちらこそ、ありがとうございます。ます。大変光栄なことです。私は2歳から12歳までの10年間、父の出身地である足助地区・旧盛岡村で暮らしました。私にとって豊田市は大切なふるさとですから、豊田市名誉市民に推挙いただき、とても嬉しく思っています。

太田市長 藤嶋先生は地元の誇りですか。市制70周年の節目の年にこうしてお話をでき、光栄です。藤嶋先生が発見された「光触媒」は、新型コロナウイルスが世界中に蔓延する今、医療現場などで活用が広がっているそうですね。

藤嶋さん そうですね。抗菌・抗ウイルス効果がある光触媒は、以前から手術室の壁にコーティングされ、衛生的な環境の維持に使われてきました。コロナ禍においては、光触媒を採用した空気清浄機を医療機関、特に医療スタッフの控室で使うケースが増えているようです。さらに、光触媒関連の新たな製品を開発している企業もあります。新型コロナウイルスの感染予防にも光触媒が役立てられていて、研究に力を注いでいるところを感じています。

太田市長 光触媒について、改めてご説明いただけますか。藤嶋さん 光触媒とは、光が当たった時に

働く触媒のこと。その主な物質が酸化チタンです。酸化チタンの表面に光が当たると、強い酸化力が生じて水が分解されます。太田市長 「分解」というところが光触媒のすごい点でしょうか。

藤嶋さん そうですね。酸化チタンに光が当たって起こる化学反応によって、ウイルスや有害物質、油汚れなど多くのものを分解できるのです。

人の役に立つものを世界中に届けたい

太田市長 光触媒を発見したのは、どんなことがきっかけでしたか。

藤嶋さん 東京大学大学院に進学して1年ほどが経った1967(昭和42)年の春、電池

の電極に関する実験をしていましたことがあります。酸化チタンの電極と白金の電極を導線でつなぎで水に入れ、酸化チタン電極に強い光を当てるとき、それぞれの電極の表面から勢いよく泡が出ることに気づきました。何だろうと調べてみると、その泡は酸素と水素。つまり、水が分解されていたのです。この時、光触媒の元となる原理を発見しました。

太田市長 その成果は1972(昭和47)年に世界的な学術雑誌『ネイチャ』に掲載され、1973(昭和48)年の第一次オーリショックの時に世界中で話題になりました。

藤嶋さん 「石油がなくても水を原料にして水素が取れる」ということに、当時は注目が集まっていました。私は光触媒の現象を「人工的な光合成」と捉え、葉っぱの葉緑素の代わりを酸化チタンが果たしているのだと思いつき、感動しましたね。

太田市長 画期的な原理を発見するだけではなく、世の中に役立つ製品の開発につなげたことも、藤嶋先生の大きなご功績だと思います。

藤嶋さん いかに日常生活で使えるかという視点を大切にして、これまで光触媒の研究を進めてきました。酸化チタンが持つ強い酸化力と超親水性の光触媒作用を応用し、汚れを防ぐ建築材、曇らない車のドアミラー、大気を浄化する外壁材、空気清浄機などの製品が生まれています。世界中で使っていただけ嬉しい限りです。

Panimulang Panayam
Honorary Emeritus na Propesor ng Unibersidad ng Agham ng Tokyo Akira Fujishima x Alkalde ng Lungsod ng Toyota Toshihiko Ota
Ninomina ng Lungsod ng Toyota si Akira Fujishima bilang mamamayang pandangal. Natuklasan ni Akira Fujishima ang photocatalysis na sumisira sa mga virus, mapanganib na mga substansya, mantsa ng sebo ng langis, at iba pang mga uri ng bagay kapag nalantad sa liwanag. Habang kumakalat sa buong mundo ang bagong coronavirus, itinaguyod ang mga sistema ng paglilinis sa hangin gamit ang kanyang photocatalysis ng mga institusyon medikal at iba pang pasilidad. Ang kanyang mga eksperimento sa mga electrode sa paaralan ng pagpapakadalubhasa (graduate school) ang humantong sa kanyang pagkatuklas ng photocatalysis na ito. Itinampok pa nga ang kanyang mga natuklasan sa Nature na magasin ng agham na kilala sa buong mundo. Habang isinusulong niya ang kanyang pananaliksik, sinikap ni Akira Fujishima na humanap ng mga paggagamitan sa kanyang natuklasan sa araw-araw na buhay.



研究者としての原点は

太田市長 今回の対談の前に母校である佐切小学校に行かれたそうですね。いかがでしたか。

藤嶋さん 同窓生たちが集まって歓迎してくれました。懐かしい思い出がよみがえりましたね。祖父母のお墓参りにも行つてきました。

太田市長 佐切小学校では毎年10月、ノーベル賞の発表の時期になると今年こそ藤嶋先生が受賞されるのではと「ノーベル賞受賞を待つ会」を開催しています。子どもたちもノーベル賞や科学を身近に感じているようです。日本広しといえども、ノーベル賞で毎年盛り上がる地域はそうそうあるわけではありませんで、藤嶋先生の偉大さを感じています。

藤嶋さん 地域のみなさんがイベントを開いてくださっていることに、本当に恐縮しています。何だか申し訳ない(笑)。でも大変光栄なことだと感謝しています。

太田市長 豊田市と足助町が合併したからこそ、藤嶋先生のご活躍を”オールとよた”の喜びとして、市民みんなで分かち合っています。

雑草という草はない

太田市長 私は以前、藤嶋先生のお話を伺い、印象に残っているエピソードがあります。戦時に東京から疎開で盛岡村に来た時、都会とは違つて何もなかつたけれど、ホタルの灯りを数えたり、雲の動きを見て次の日の天気を予想してみたり、何にでも興味を持たれたそうですね。それがおそらく自身にとっての出発点だろうと藤嶋先生がおっしゃっていました。

藤嶋さん そうです。身のまわりにある自然には、不思議なこと、おもしろいことがあふれていますからね。いかに関心を持つかが



自慢ですよ。

太田市長 佐切小学校時代には、どんな思い出がありますか。

藤嶋さん 一番の楽しみだったのが、佐切小学校で日々行われていた映画上映会。母親と一緒に、真っ暗な夜道を歩いて行ったことを覚えています。懐中電灯はない時代ですから、空き缶にろうそくをつけて、ほのかな灯りで照らしながら行くんです。流れ星やホタルがきれいですね。映画だけでなく、その行き帰りも楽しい思い出です。

太田市長 学校生活はいかがでしたか。

藤嶋さん 6年生の時の理科の授業は今でも印象に残っています。クラスが半分ずつに分かれ、情報収集にはラジオが良いか新聞が良いかという論戦を繰り広げました。自分たちで考えて意見を言い合う授業は珍しかったですから、忘れられない経験になりました。また、当時使われていた単位は尺貫法でしたが、メートル法を教わったことも衝撃的でした。先生が1リットルのビーカーに水を入れて「1リットルの水の重さは1キログラムだよ」と言いました。それまで当たり前に思っていた一貫目、一匁、一尺、一寸という単位とは違う概念に驚いて、「もつといろいろなことを知りたい」と好奇心が刺激されたのです。そんな学びのおもしろさを体感したことが、研究者の道を進むことになった原動力なのかもしれません。

太田市長 足助町になる前、私が幼い頃は盛岡村でした。盛岡村立佐切小学校だったんですね。それが足助町になつてすごいなと思つたら、今度は豊田市。出身地を聞かれたとき、「豊田市です」と答えられることが私の



母校を見学しながら、思い出を振り返る藤嶋さん

大事です。牧野富太郎という有名な植物学者が「雑草という草はない」という言葉を残しています。雑草という草はなく、どんな小さな植物にも名前があるんですよ。草花の名前を覚えただけで、普段何気なく通る道も景色が違つて見えるでしょう。関心を持つことが、自分の視野を広げる第一歩だと思います。

太田市長 ものが満ち足りて、いろんな情報にあふれる世の中では、何気ないものに目を向けることが少なくなつていてるように感じます。物質的な豊かさだけではなく、心の豊かさを求めることが、これから社会においてますます重要ですね。心豊かな日々を過ごせるように、豊田市では各地区で大切にされてきた身近な地域資源の価値や可能性、多様性をみんなで共有する「WE LOVE とよた」の取組を広げてきました。それが実感している豊田市の魅力を伝え合い、一緒に楽しもうというムーブメントが市民に広がっています。何気ないまちの風景も尊いものとして捉え、大切にしていきたいという市民の思いや行動が、豊田市を「わくわくする世界一楽しいふるさと」に育っていくと信じています。

藤嶋さん まちの魅力を再発見し、次の世代につないでいくための素晴らしい取組ですね。私は大切なものを見落とさないように、日頃から何でもメモするようにしています。心が動かされたこと、不思議などを感じたことなど、すべて手帳に書き残しておくるのです。



佐切小学校で一緒に学んだ藤嶋さんと同窓生のみなさん

Binisita ni Akira Fujishima ang kanyang dating paaralan (alma mater) na Paaralang Elementarya ng Sagiri sa Lungsod ng Toyota bago ang kanyang panayam kay Alkalde Toshihiko Ota. Sumali ang marami sa kanyang mga dating kamag-alaral upang ipadama ang mainit na pagsalubong ng napanibagong pagkakaibigan. Binanggit ni Alkalde Toshihiko Ota ang Pulong ng Nobel Laureate (Nobel Laureate Forum) na ginaganap tuwing Oktubre bago itinanong kay Akira Fujishima ang tungkol sa kanyang panahon sa Paaralang Elementarya ng Sagiri. Sinabi ni Akira Fujishima na ang pag-aaral tungkol sa mga metro, litro at iba pang yunit na panukat sa klase sa agham ay nagdulot ng magandang impresyon. Sa mga panahon na karaniwan pang ginagamit ng bansang Hapon ang sarili nitong mga yunit na panukat, pumukaw sa pagiging mausisa ng batang Akira Fujishima ang sistemang metric. Pinukaw ng karanasang ito ang kanyang interes maging sa karaniwan at pinatalak ang kanyang pananaw sa mundo sa kanyang paligid. Nabigyang-inspirasyon ng mga salita ni Akira Fujishima, sinimulan ni Alkalde Toshihiko Ota ang kampanyang MAHAL NAMIN ANG TOYOTA na nagbabahagi sa kahalagahan ng mga lokal na kayamanan pati na rin ang pagkaka-iba at potensyal ng buong lungsod.

子どもたちにも 学ぶ楽しさを伝えたい

太田市長 藤嶋先生は以前から、科学のおもしろさを伝える講演会や読書推進など、子どもたちを対象とした活動にも尽力されていますね。豊田市では小・中学校などで講演会「藤嶋塾」を開催していたとき、子どもたちにとつて授業とはまた違った学びの場になっています。また、藤嶋先生から寄贈いただいた本は、先生の母校である佐切小学校で「藤嶋文庫」と名付けられ、多くの子どもたちが科学などに関心を持つきっかけになっています。

藤嶋さん 小学生や中・高生のみなさんに向けた講演会を行う時は、「身近なもの不思議」を題材にお話をしています。たとえば、空はなぜ青いのか。雲はなぜ白いのか。当たり前のこととして普段は気にも留めないけれど、なぜなのか答えるのは難しい問題ですよ。でも、それ理由がちゃんとあるんです。その理由を探っていくと、科学の奥深さを感じて、物事の捉え方も変わってきます。

太田市長 ものの見方とか視点というのは、科学に限らず大切ですよね。

藤嶋さん その通りです。多角的な視点は、いろんなジャンルの本を読むことで身につきます。今回の対談に先立ち、佐切小学校を訪れた時、図書室にも寄ったのですが、藤嶋文庫以外にも本がたくさんありました。私が小学生の頃には考えられなかつたことがあります。

より良いミライに向かって ともに挑み続ける

太田市長 藤嶋先生が新たにチャレンジしたいと思っていることは何でしょうか。

藤嶋さん 光触媒による水処理です。非常に難しくて、まだ研究段階。世界中の飲み水をきれいにすること、汚れた池をきれいにすることなどが目標です。今は東京のお堀を美しくできいかなと思って、水処理用フィルターなどを検討しています。「太陽光によって、汚れた水を自然にきれいにする」技術を、未来のために実現していきたいですね。

太田市長 素晴らしい！ その技術が確立すると、世の中のいろんな問題が解決しますね。

藤嶋さん 太田市長はどんなことにチャレンジしていくのですか。

太田市長 私は3期目の市政経営に全力で取り組みたいと思っています。人口減少や少子高齢化の進展、第4次産業革命、災害の激甚化など、これまで経験したことのない時代へと移っていく現代。先人の進めてこられた歩みと、市民一人一人の思いをしっかりと未来につなぐためのまちづくりを進めます。「すくすく育つまち、「ゆうゆう」暮らせるまち、「いきいき」活躍できるまち、「わくわく」楽しいまち、「こつこつ」備えるまちの5つを柱として掲げ、安全・安心なまちづくり、元気で明るいまちづくりに挑み続けたいと考えています。

藤嶋さん 豊田市は日本だけでなく世界的にも名の知れたまちですから、これから的发展にも期待しています。私もふるやど・豊田

市のために何かお力になればと、今後も藤嶋塾などを行つてていきます。

太田市長 ありがとうございます。藤嶋先生には、「WE LOVE とよたスペシャルサポーター」のお一人として豊田市の魅力も発信していただいていますね。豊田市の将来に対する、何かご要望はありますか。

藤嶋さん 日本は資源が限られた国ですから、未来を担う人材の育成、科学技術の研究が重要です。自動車産業をはじめ「ものづくり」が盛んな豊田市を中心にして、科学技術をどんどん発展させていただきたいなと思っています。それは豊田市のためだけではなく、日本のため、アジアのため、世界のためになるでしょう。

太田市長 そうですね。未来に向けて豊田市が培ってきた強みにさらなる磨きをかけ、「子どもたちへつなぐ安心で活力と魅力あるまち豊田」の実現に力を注いでいきます。引き続き、藤嶋先生にはご指導いただきますよう、よろしくお願ひいたします。

藤嶋さん 私も研究活動や後進育成にまますます励んでいきます。また、藤嶋塾などで豊田市にお伺いしますね。

と。学校には勉強する機会が数多く用意されていますから、子どもたちは積極的に活用して、自分からいろいろなことを吸収してほしいなど期待しています。

太田市長 オンライン藤嶋塾なども開催して、より多くの子どもたちに学ぶ楽しさを伝えていきたいですね。豊田市は、豊かな人間性を育むための教育環境づくりを推進しています。地域の宝である子どもたちがそれぞれの個性や可能性を伸ばしていけるように、多彩な学びのチャンスを提供していきたいと思います。藤嶋先生、またぜひご協力をお願ひいたします。



「WE LOVE とよたスペシャルサポーター」の任命式の様子



Itinuring ni Akira Fujishima ang Silid-Aralan ng Fujishima bilang paraan upang ibahagi ang kasiyahang dulot ng agham sa mga mag-aaral sa lokal na elementarya, junior high at mataas na paaralan (high school). Nagbigay din siya sa kanyang dating paaralan (alma mater) ng maraming klaseng aklat para aktibong gamitin ng mga mag-aaral sa Paaralang Elementarya ng Sagiri bilang Fujishima Book Corner (Sulok para sa Pagbabasa ng Libro na Fujishima).

Sa pagtatapos ng panayam, nagtanong si Alkalde Toshihiko Ota tungkol sa hinaharap. Ipinaliwanag ni Akira Fujishima ang kanyang bisyon na paggamit sa photocatalysis na kanyang natuklasan upang matamo ang pagproseso ng tubig gamit ang sinag ng araw para likas na linisin ang marumung tubig. Pagkatapos, ibinalik ni Akira Fujishima ang parehong tanong kay Toshihiko Ota. Tinukoy ng Alkalde ng Lungsod ng Toyota ang mabilis na pag-unlad ng edukasyon, tahimik na pamumuhay, masigasig na pakikilahok, kasiya-siyang paglilihang, at matatag na kahandaan bilang limang haligi para sa ligtas at matatag na pag-unlad ng lungsod—isang pagsisikap na inaanahan niyang magpatuloy sa pagtatatag ng maniningning, masiglang lungsod.



「藤嶋塾」は、豊田市が独自に開催する、藤嶋さんを講師に迎えた講演会です。ものづくりなどの将来を担う人材育成の一環として、ご自身の研究活動や科学のおもしろさについて語っていただいています。これまでに小・中学校を中心に、中央図書館、交流館など市内の各所で開催しました。

豊田市制 70年の歩み

70年の歩み

2020 REPORT

新型コロナウイルス感染症に関する記録

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、世界中に不安や混乱が広がった2020（令和2）年。国内では4月に緊急事態宣言が全国に発出され、日常生活が一変しました。

市内では、緊急事態宣言が解除された5月頃から経済活動が順次再開し、学校・子ども園・公共施設も段階的に再開しました。豊田市では、市民生活や事業活動を支えるための対策に力を注ぐとともに、国や県、医療機関との連携を強化し、感染拡大の防止に取り組みました。また、感染対策用品の寄贈や飲食店応援キャンペーンなど、人々の支え合いの輪が拡大、困難な状況を乗り越える力になりました。



RUGBY WORLD CUP 2019

IN TOYOTA STADIUM

世界最高峰のラグビーに感動 ラグビーワールドカップ2019 in 豊田スタジアム

世界中に熱い感動をもたらしたラグビーワールドカップ2019。全国12会場の一つに、豊田スタジアムが選ばれました。招致から開催までの道のり、大会期間中の熱狂、レガシーなどを振り返ります。

ラグビーワールドカップは、1987年に第1回大会を開催して以来、4年に一度行われる国際大会です。夏季オリンピックやサッカーワールドカップと並ぶ世界三大スポーツ大会の一つと言われています。これまで、ヨーロッパ、オセアニア、南アメリカなど、ラグビー伝統国が開催地となってきました。その歴史に新たな風が吹いたのが、ラグビーワールドカップ2019。日本がアジア初の開催地に選ばれました。そして、たくさんの声援を力に変えた日本代表が史上初の8強入りという快挙を成し遂げたのです。

ラグビーワールドカップ2019公式キャラチコピー「4年に一度じゃない。一生に一度だ。」のとおり、市民にとって、「一生に一度の体験」となった今大会。世界中から訪れた多くの人とともに、世界最高峰のラグビーが生み出す熱狂や感動を分かち合いました。

招致から開催までの道のり

多くの人々の尽力により、豊田スタジアムでの開催が決定。ラグビーの魅力や豊田市開催のメリットを広く伝え、ラグビーワールドカップ2019の開催機運を醸成しました。

	2019	2018	2017	2016	2015	2014
令和元年	● 愛知・豊田市独自ボランティアの募集を開始	● 100日前イベントの開催	● シティドレッシングを開始	● ラグビーワールドカップ2019の開幕		
平成30年	● 愛知・豊田ラグビーフェスタ2019の開催					
平成29年						
平成28年						
平成27年						
平成26年						
1月 ● チケット販売が開始	4月 ● 名古屋市・一宮市・豊田市が公認チームキャンプ地に内定	6月 ● リボビタンDチャレンジカップ2018日本大会公式ボランティアの募集を開始	8月 ● ラグビーワールドカップ2019日本大会公式ボランティアの募集を開始	10月 ● 愛知・豊田ラグビーフェスタ2017の開催	1月 ● 豊田市が開催都市として立候補を表明	5月 ● 愛知県と豊田市が連名で開催都市希望申請書を提出
6月 ● 愛知・豊田ラグビーフェスタ2019の開催	5月 ● 500日前イベントの開催	9月 ● イングランドで開催されたラグビーワールドカップ2015のパブリックビューイングを実施	11月 ● 試合日程発表のパブリックビューイングを実施	6月 ● リボビタンDチャレンジカップ2016日本代表対スコットランド代表戦の開催	3月 ● 愛知県・豊田市が開催都市に決定	1月 ● ラグビーワールドカップ2019愛知・豊田開催支援委員会を設立
8月 ● シティドレッシングを開始	9月 ● 最大のラグビースクラムでギネス世界記録を達成(豊田商工会議所青年部)	10月 ● 1年前イベントの開催	12月 ● 1000日前イベントの開催	7月 ● 愛知・豊田ラグビーフェスタ2016の開催	8月 ● ラグビーワールドカップ2019日本代表対ジョージア代表戦の開催	9月 ● リボビタンDチャレンジカップ2018日本代表対ジョージア代表戦の開催

RUGBY WORLD CUP 2019

Ang Kasiyahan ng Mundo na Pangunahing Rugby sa Pandaigdigang Kopa ng Rugby 2019 sa Stadium ng Toyota

Dinala ng Pandaigdigang Kopa ng Rugby 2019 ang pagkahilig at pagkatuwa ng buong mundo sa rugby sa bansang Hapon. Napili ang Stadium ng Toyota bilang isa sa 12 lugar ng paligsahan sa buong bansang Hapon. Pinatunayan din ng torneong ito na totoo ang opisyal nitong islogan na nangangako ng "minsan lang sa tanang buhay" na karanasan para sa mga mamamayan ng Toyota. Balikan natin ang ilan sa kasiyahan noong torneo, ang pamana, at ang aktibong pakikilahok ng mga mamamayan.



もっと強くなりたい 夢の舞台で新たな扉を開く

RUGBY
WORLD
CUP
2019

姫野和樹選手
インタビュー

姫野和樹選手プロフィール

1994(平成6年) 愛知県生まれ
2017(平成29年) トヨタ自動車ヴェルブリッツ入団／新人賞・ベスト15
日本代表選出
2019(令和元年) ラグビーワールドカップ2019出場 全5試合先発出場

「ラグビーワールドカップ2019を通じて、何を得たと感じますか。」「もっと強くなりたい」という向上心です。中学時代からラグビーに熱中してきた僕には、「ラグビーを日本になくてはならない存在にしたい」という夢があります。その実現の

もう一つ印象に残っているのは、豊田市の祭り騒ぎ。すごい盛り上がりでしたね。日本代表が宿泊したホテル前には大勢の人々が集まって大歓迎してくれて、豊田市はラグビーに熱いまちだと実感しました。

— 豊田市のみなさんへ、メッセージをお願いします。

今回のラグビーワールドカップでは、豊田市のラグビー熱をすごく感じました。その熱を冷めさせないためにも、支えてくれるみなさんの感謝の気持ちを胸に自分を成長させていきます。トヨタ自動車ヴェルブリッツもトップリーグでさらに飛躍できるよう、ぜひみなさん応援してください。よろしくお願ひします！

Ang layunin ay ang maging mas mahusay pa. Buksan ang mga bagong pintuan sa lupain ng mga pangarap.

Sumali si Kazuki Himeno sa Toyota Verblitz upang pangunahan ang koponan ng rugby ng bansang Hapon bilang kapitan nito. Tumulong siya gamit ang kanyang mabagkis na paraan ng paglalaro sa Pandaigdigang Kopa ng Rugby, na tumulong sa koponan na makatrabaho sa minimithing quarterfinals. Masigasig na ikinuwento ni Kazuki Himeno kung gaano kahalagang kayamanan ang bawat segundo ng paglalaro ng rugby. Kumbinsido siyang kailangan niyang lalo pang gumaling sa paglalaro nito. Ngayon hangad ni Kazuki Himeno na makasama sa apat na pangunahan sa Pandaigdigang Kopa ng Rugby 2023.

Kazuki Himeno, Impormasyon (Profile)
Bilang Manlalaro

1994 Ipinanganak sa Prepektura ng Aichi
2017 Sumali sa Toyota Verblitz at natanggap ang parangal ng Pangunahing Liga (Top League) bilang Baguhan (Rookie) ng Taon at Pinakamagaling na XV (Best XV). Napili bilang miyembro ng Pambansang Koponan ng Rugby ng Hapon.
2019 Panimulang manlalaro sa lahat ng limang labanan sa Pandaigdigang Kopa ng Rugby 2019 na torneo sa bansang Hapon

—ラグビーワールドカップ2019に出場し、いかがでしたか。

出場した全5試合、夢の舞台に立てた喜びを噛みしめながらプレーしました。その一秒一秒が、自分にとつてかけがえのない宝物です。

—地元・豊田スタジアムの試合で、印象に残っていることを教えてください。

トライを決めた時、会場が姫野コールに包まれた瞬間は、本当に忘れられません。とても感慨深く、胸が熱くなりました。豊田スタジアムは、僕のホームスタジアムだと思っていました。そんな大切な場所で自分らしいプレーができる、お世話になつた方々、応援してくれる方々に恩返しができたかなと嬉しく感じました。

もう一つ印象に残っているのは、豊田市の祭り騒ぎ。すごい盛り上がりでしたね。日本代表が宿泊したホテル前には大勢の人々が集まって大歓迎してくれて、豊田市はラグビーに熱いまちだと実感しました。

ためには自分自身がもっともっと強くならなければいけない。次のワールドカップでより良い結果を残さないといけない。そんな気持ちに火がつきました。

また、今大会はラグビーの可能性をひしひしこじいた大会でした。ワンチーム、ノーサイドなどのラグビー文化が多くの人的心を掴んで、それが日本中の盛り上がりにもつながったのでしょうか。ラグビーが日本においてさらに発展していくことを感じました。

—今後の目標を教えてください。

2023年のラグビーワールドカップでベスト4に入りたい。そのため、今やるべきことを常に考えて行動し、前に進み続けたいと思います。2021年には海外のハイレベルなリーグに挑戦し、自分の力を伸ばしていきます。

ためには自分自身がもっともっと強くならなければいけない。次のワールドカップでより良い結果を残さないといけない。そんな気持ちに火がつきました。



ファンゾーンには、400インチの大型スクリーンが設けられ、豊田スタジアムの試合などを放映。国籍や応援しているチームなどの違いを超えて、観客一体となって盛り上がりました。



国内外から集まるラグビーファンに試合以外の時間も楽しんでもらえるよう、豊田市駅前を中心市内各所でおもてなしイベントを開催しました。



熱気と感動に包まれた、「一生に一度」の体験

RUGBY
WORLD
CUP
2019

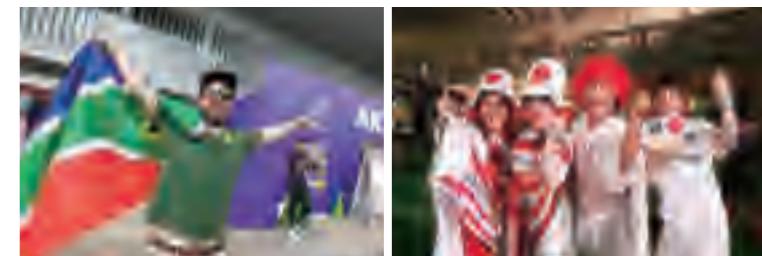
【開催レポート】
豊田市全体が
熱気の渦に

豊田スタジアムでの試合をはじめ、スカイホール豊田でのファンゾーン、世界中のラグビーファンを歓迎するおもてなしイベントが賑やかに開催されました。

大会期間中、豊田市が熱気に包まれ、人々の心に一生に一度の思い出が刻まれました。

豊田スタジアム試合結果			
9.23(月・祝)	9.28(土)	10.5(土)	10.12(土)
ウェールズ vs ジョージア	南アフリカ vs ナミビア	日本 vs サモア	ニュージーランド vs イタリア
43	14	57	3
試合中止		38	19

*ニュージーランド・イタリア戦は、大型の台風19号の接近により残念ながら中止となりました。チームや観客、大会に関係するすべての人々の安全を最優先に考えた苦渋の決断でした。



Sigla at kasabikan ang nagpapaalab sa Minsan lang sa tanang buhay na karanasan.

Nagdaos ang Lungsod ng Toyota ng mga paligsahan sa Stadium ng Toyota, Fanzone na espasyo ng kaganapan at Sky Hall Toyota, at iba pang mga kaganapan para salubungin ang mga tagahanga ng rugby mula sa buong mundo. Punung-puno ng kasabikan ang Lungsod ng Toyota noong panahon ng torneo, na itatangi sa puso ng mga tao bilang minsan lang sa tanang buhay na alala.



ラグビーワールドカップ2019が 遺したもの

ラグビーワールドカップ2019の招致・開催は、豊田市に様々なレガシー(遺産)をもたらしました。道路や駅前などのハード整備とともに、ボランティアプログラムなどのソフト事業も活発になり、まちの活性化、魅力向上につながっています。



ラグビーワールドカップ2019開催期間中、多くの人が賑わった芝生広場「よしば」。現在も、まちなかの憩いの空間として利用されています。

移動が便利なまちへ
豊田北バイパス平戸大橋の整備、高橋の4車線化をはじめとした道路整備を行い、渋滞の解消など快適な交通環境を創出しました。

**駅前には開放的な芝生広場「よし
ば」がオープン。人々の交流の場となつ
ています。**

賑わいあふれるまちへ

誰もが訪れたくなるまちを目指して、豊田市駅周辺を居心地の良い魅力的な空間へと整備。

駅前には開放的な芝生広場「よし
ば」がオープン。人々の交流の場となつ
ています。

Nag-iwan ang Pandaigdigang Kopa ng Rugby 2019 ng malilim na marka sa Lungsod ng Toyota.

Ang pag-iimbita at pagdaraos sa Pandaigdigang Kopa ng Rugby 2019 ay nagbigay sa Lungsod ng Toyota ng napakalaking pamana (mga ari-arian). Makikita ang pamana na ito sa mga pisikal na anyo mula sa mga pag-aayos sa Stadium ng Toyota hanggang sa imfraestructura gaya ng malalaking kalsada at tulay pati na ang mga abstraktong anyo tulad ng paglinang sa kagustuhan ng magboluntaryo sa larong palakasan. Sa hinaharap, gagamitin ng Lungsod ng Toyota ang pamanang ito sa pagsuporta sa mas maganda pang pag-unlad ng lungsod.



上) 豊田北バイパス平戸大橋 下) 4車線化された高橋

RUGBY
WORLD
CUP
2019

ミライにつながる
レガシー



ラグビーワールドカップ2019の 感動を支えた“ONE TEAM”

ラグビーワールドカップ2019開催中、豊田市はきらめく雰囲気に包まれていました。そこでひときわ輝いていたのが、ホスピタリティマインドに満ちたボランティアのみなさんです。ラグビーも豊田市も楽しんでもほしいという思いを一つにして、あらゆる場面で活躍しました。

RUGBY
WORLD
CUP
2019

市民ボランティアの
活躍



ラグビーワールドカップ2019
日本大会公式ボランティア
「TEAM NO-SIDE」

日本ラグビーが育んだ「ノーサイドの精神」のもと、日本やラグビーの素晴らしさを発信。全国12開催都市で合計約1万3,000人が採用されました。

部活でラグビーに熱中していた高校時代、豊田市がラグビーワールドカップの会場に決定。「自分が生まれ育ったまちに世界のラグビーが来るんだ!」と興奮しました。そんな経験から、大好きなラグビーに貢献したいといふ一心でボランティアに挑戦しました。ファンゾーンの案内誘導やゲートでのおもてなしは、力を注ぎ、観客の方々との交流を楽しみました。ボランティアに参加して良かったことは、年齢、性別、職業などが異なる様々なメンバーと一緒に目標に向けて取り組めたこと。ボランティア活動を通して柔軟性や相手を思いやる姿勢を培うことができました。



ラグビーワールドカップ2019日本大会
公式ボランティア「TEAM NO-SIDE」参加

是安 佑飛さん



愛知県・豊田市独自ボランティア
「TRY FOR ALL スタッフ」

「世界一熱いラグビーを届けよう」という愛知・豊田の地元キャッチフレーズを体現するように、真心込めたおもてなしを実践。多くの人に笑顔を届けました。

主な活動内容は、豊田市駅周辺でのチラシ配りや道案内などでした。私は10人ほどのグループをまとめるボランティアリーダーを務め、仲間への声かけやフォローも大切にしました。心に残っているのは、海外の方々を道案内する時に英語が得意なメンバーにお願いしたことです。「一人ではできないことも、みんなで協力すれば達成できる」と再認識しました。また、今回参加したことでの、豊田市には観光スポットや名産品がたくさんあると実感。今後は観光分野のボランティアにも挑戦したいです。



愛知県・豊田市独自ボランティア
「TRY FOR ALL スタッフ」参加

白川 直美さん

“Isang Koponan” Sumusuporta sa Kasikatan ng Pandaigdigang Kopa ng Rugby 2019

Kuminang ng kasiyahan ang himpapawid ng Lungsod ng Toyota noong ginanap ang Pandaigdigang Kopa ng Rugby 2019. Ang pinakamaliwanag na bituin ay ang lahat ng voluntero na umasal nang isinasa-isip ang mabuting pangangalaga sa mga bisita ng lungsod. Ang isang pag-asaya na iniilalarawan ng bawat aspeto ng mga lokal na pagsisikap ay hindi lamang para masiyahan ang mga tao sa Rugby kundi pati na rin sa Lungsod ng Toyota. Marami sa mga tao na nagboluntaryo ang nagpahayag na naramdam nila ang kahalagan ng pagkakaiba-iba sa pamamagitan ng pagboluntaryo. Pinag-usapan nila ito bilang isang napakahalagang karanasan na minsan-lang-sa-tanang-buhay. Ipinakita ng kanilang komento na ang pakikibahagi at suporta sa isa'tisa ng napakaraming tao ay lalong napalawak sa kanilang pananaw at kakayahang umaksyon.



Congratulations to the City's 70th anniversary!
As I grew up enjoying canoeing in the Yahagi River, I consider Toyota City to be my origin that nurtured me with care. After graduating high school, I moved to Slovakia where I train every day. I still feel at home when I return to the City as people of Toyota continue to cheer me, giving me strength.

I will continue to dedicate everything to canoeing with the support of the Toyota City pushing my back. Thank you for your continued support and I hope you will continue to cheer me!

カヌー選手

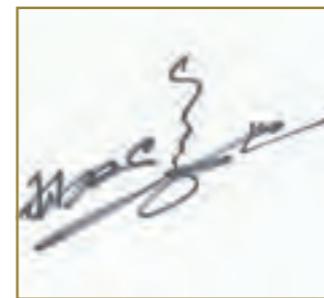
羽根田 卓也 さん

PROFILE

1987(昭和62)年愛知県豊田市生まれ。朝日丘中学校、杜若高校卒業。ミキハウス所属。2008(平成20)年の北京オリンピックから3大会連続でオリンピックに出場。2016(平成28)年のリオデジャネイロオリンピックでは、カヌースラローム男子カナディアンシングルで銅メダルを獲得

豊田市制70周年、おめでとうございます！
実はボクが生まれたのは昭和34年、つまり拳母市から豊田市に改名した年だったと学校で習いました。そんなボクも豊田市も61歳！その先輩にあたる拳母市誕生70周年をお祝い出来るのは、すごく嬉しいことです。小学校の時に地元の教科書「明るい豊田市」で学んだちょっと人型元気な恐竜のように見えてるのはボクだけでしょうか。

今でも帰れる実家があり、帰れば猿投山や六所山を望み、矢作川の水面を愛でることが出来る豊田市。そんな変わらない故郷の益々の発展を心から願っています。



Congratulations to Toyota City for its 70th anniversary!
I learned at school that in 1959, the year I was born, the name of the City was changed from Koromo City to Toyota City. That means that both Toyota City and I are 61 years old! I am very happy to be able to celebrate the 70th anniversary of the founding of Koromo City, Toyota City's predecessor. When I was in elementary school, I learned from Akarui Toyota City, a textbook on the local area, that the shape of Toyota City is reminiscent of a human. Is it only me who thinks that it looks like a healthy dinosaur with the spread to the northeast?

My childhood home that I am able to return to still remains. When I do return, I am able to take in views of Mt. Sanage and Mt. Rokusho as well as enjoy looking at the surface of the Yahagi River. I sincerely hope for the further development of Toyota City, my hometown that doesn't lose its attractiveness.

アニメプロデューサー
諏訪 道彦 さん

PROFILE

1959(昭和34)年愛知県豊田市生まれ。ytv Nextry専務取締役、アニメ企画プロデューサー。読売テレビ入社後、「名探偵コナン」「シティーハンター」「YAWARA!」「金田一少年の事件簿」「犬夜叉」「ブラック・ジャック」など数多くのアニメをプロデュース。2021(令和3)年は「半妖の夜叉姫」、劇場版「神在月のこども」を担当中

みんなで取り組む
「WE LOVE とよた」とは？

「わくわくする世界一楽しいふるさと」を目指して

Mga Pinagmulan ng MAHAL NAMIN ANG TOYOTA
Hangaring maging Pinakakasiya-siya at
Masiglang Lungsod sa Mundo

Nagsimula ang Proyekto na Toyota Genki noong Marso 2009 para malampasan ang kakulangan ng pag-unlad ng lokal na ekonomiya dulot ng pinansiyal na krisis noong 2008 at magkaroon ng higit na kamayalan ang mamayaman. Ang motto na ginamit sa proyekto ito ay ang MAHAL NAMIN ANG TOYOTA. Ngayon, mas malawak na ang paggamit sa mga salitang ito para muling pagtibayin ang pagmamahal at pagmamalaki na nararamdaman ng mga tao para sa kahanga-hangang lungsod na ito, na ipapamana sa susunod na henerasyon. Noong Abril 2017, isinabatas ang isang ordinansa para pagtibayin ang MAHAL NAMIN ANG TOYOTA sa lungsod ng Toyota. Nagsisikap ang bawat residente na itatag ang pinakakasiya-siya at masiglang lungsod sa buong mundo.

2009(平成21)年3月に始まった豊田市の地域経済活性化プロジェクトで、合言葉として使われた「WE LOVE とよた」。現在は「まちの魅力を市民が再認識し、愛情と誇りを持って、次の世代に引き継いでいく」というさらに広い意味で使用されています。2017(平成29)年には「WE LOVE とよた」条例を制定。市民一人一人がまちを楽しみ、愛情と誇りを持つことで、「わくわくする世界一楽しいふるさと」を目指していきます。

全国的に有名な人を「WE LOVE とよたスペシャル
サポートー」に任命し、豊田市の魅力を全国や世界に
向けて発信しています。

スペシャルサポートーからのメッセージ



Congratulations to Toyota City for its 70th anniversary!
Born and raised in Toyota, I spent much of my youth in this City. So for me, Toyota City is my hometown that I have many memories of and cherish. If I reflect on summers when I was young, I remember that it was normal to go out together with my father at 5 am to Mt. Sanage to catch rhinoceros beetles and stag beetles. In spring, I often played with my sister on the animal-themed playground equipment at Shirahama Park along the Yahagi River. If we made our way to Toyotashi Station, we would be sure to find croquettes at Matsuo. I really enjoyed eating them together for dinner together with my mother's stir-fried spinach! I became aware of the great things Toyota has to offer when I was away. After I was nominated as a We Love Toyota Special Supporter in 2015, I participated in the Toyota Oiden Festival and other events which really made me come to know the charm of the City. The chicken impersonation I did with Mayor Ota was unforgettable! I hope that Toyota City, the place many of my family members, friends, and colleagues that I love call home, will continue to develop in the future.

タレント
福田 彩乃 さん

PROFILE

1988(昭和63)年愛知県豊田市生まれ。2009(平成21)年デビュー後、今まで多数の番組に出演し、現在は東京や地元愛知県で番組MC・ナレーション・コメントーターを務める。2020(令和2)年に一般男性との結婚を発表



豊田市制70周年おめでとうございます！

豊田で生まれ、豊田で育ち、たくさんの方々の青春時代をこの街で過ごしてきた私にとって、豊田市はとても思い出深く、大切なふるさとです。

幼い頃の夏といえば、父と一緒に朝5時から猿投山へカブトムシやクワガタを探集しに出かけるのが定番で、春は矢作川沿いの白浜公園にある動物の遊具で姉とよく遊んだことを覚えていました。豊田市駅周辺へ出かければ決まって松丈のコロッケ。母が作ってくれるホウレンソウの炒め物と一緒に夕飯で食べるの大好きでした。

豊田を離れて感じる豊田の良さ。2015年にWE LOVE とよたスペシャルサポートーに任命いただき、おいでんまつりやイベントへの参加で、改めて豊田の魅力を知ることができました。

太田市長と一緒にやった鶏のモノマネは忘れられない思い出です！私の家族、友人、大好きな仲間がたくさんいるこの豊田市が、さらに良い街になるよう、今後益々の発展を願っています。



Congratulations on the 70th anniversary of Toyota City!
Born and raised in Toyota City, I have many memories of my hometown. The Toyota Oiden Festival was a particularly memorable part of growing up in Toyota City. Back in the day, I was very shy, so I wasn't able to directly participate and dance, but I looked forward to seeing it every year. I was never able to get the festival's song "Oiden Mirin O-do-roma-i" out of my head, and I still hear this song in my dreams. I love it that much. Although I am not currently living in Toyota as I have been living in Tokyo for many years, my childhood memories make me feel happy. When I sometimes return to my hometown, I get "recharged" which encourages me to again work hard in Tokyo.
For me, my hometown of Toyota City is a really important place. As a We Love Toyota Special Supporter, I want to continue to promote Toyota City.

市制施行70周年おめでとうございます！

豊田市で生まれ育った私にとって、地元にはたくさん思い出があります。特に印象に残っている出来事は、「豊田おいでんまつり」です。当時は恥ずかしがり屋な性格で、参加して踊る事は出来なかつたのですが、毎年見に行くのが楽しみでした。「おいでんみりんつおうどるま～♪」という曲が頭から離れなくて、今でも夢にこの曲が出てきます。それくらい大好きです。

今は、豊田を離れ、東京での生活が長くなっていますが、子どもの頃の思い出が、私に元気を与えてくれます。たまに地元に帰るとパワーチャージされて、また東京で頑張ろうと思えます。

私にとって地元豊田は本当に大切な場所です。これからも「WE LOVE とよたスペシャルサポート」として豊田市をPRしていきたいと思います！



Warmest congratulations on the 70th anniversary of Toyota City.
As our company's baseball club, we won the 2016 Intercity Baseball Tournament. We later reported the victory to the citizens of Toyota City during the Toyota Oiden Festival and participated in the festival parade. This remains a great memory for all of us in the baseball club. Last year, our team was appointed as a We Love Toyota Special Supporter. Therefore, we will continue to devote ourselves to allowing Toyota City to be known at major venues nationwide. In addition, we would like to contribute to promoting sports in Toyota City by holding baseball classes for citizens. In closing, our baseball club looks forward to your continued support and encouragement.

お笑い芸人 よしこさん (ガンバレルーヤ)

PROFILE

1990(平成2)年愛知県豊田市生まれ。藤岡中学校卒業。2012(平成24)年にお笑いコンビ「ガンバレルーヤ」のボケ担当としてデビュー。顔モノマネで人気を博し、バラエティー番組で活躍するほか、ドラマや映画にも出演



市制施行70周年を迎える誠におめでとうございます。

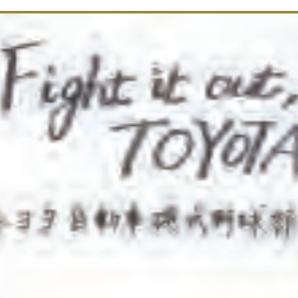
弊社硬式野球部として2016年に都市対抗野球大会を制し、「豊田おいでんまつり」にて市民の皆様に優勝報告ならびにパレードへの参加をさせて頂いた事が今でも野球部一同良い思い出として残っております。

2019年にWE LOVE とよたスペシャルサポートに任命して頂き、これからも豊田市を全国の大舞台に発信できるよう精進いたします。また、市民向けの野球教室の開催等を通じ、豊田市のスポーツ推進にも寄与していくことを考えております。最後になりますが、これらも弊社硬式野球部へのご支援・ご声援の程よろしくお願いいたします。

トヨタ自動車 硬式野球部

PROFILE

1947(昭和22)年創部。1963(昭和38)年に豊田市代表として都市対抗野球大会初出場、1989(平成元)年の初勝利以降、全国強豪チームへと成長。都市対抗野球大会優勝1回。日本選手権大会優勝5回



安心して暮らせる街。生活する人の穏やしさ。豊かな自然から感じる歴史。近くに感じる未来への扉。すべてが心地よく調和されているオーリーワンの街であると思います。

夫の転勤により現在は東京で生活していますが、また「ただいま！」と皆様にお会いできる日を楽しみにしております。

市制70周年、おめでとうございます！

2017年2月1日深夜1時、私は豊田市民になりました。凍えそうなど寒い夜でしたが、守衛室の方が温かく迎え入れてくださいました。当時、東京で週5～6日生放送の番組を担当していたため、豊田市在住の夫と別居婚という形で新婚生活をスタートさせました。帰る場所があることの幸せを教えてくれたのは豊田市でした。



タレント 上田まりえさん

PROFILE

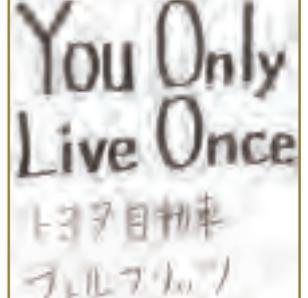
1986(昭和61)年鳥取県境港市生まれ。2009(平成21)年日本テレビにアナウンサーとして入社。2016(平成28)年1月末に退社し、タレントに転身。現在は、タレント、ラジオパーソナリティ、ナレーター、MC、スポーツキャスター、ライターなど幅広く活動中

市制施行70周年おめでとうございます。
トヨタ自動車ヴェルブリッツはこれまで豊田市と共に歩み歴史を重ねてきました。市民のみなさまにはいつも温かく応援して頂き、誠にありがとうございました。
豊田市とはタグラグビー教室(タグブリッツ)や産官学一体となつた豊田スポーツアカデミーなどの活動を通して、健全な青少年の育成と一緒に推進してきました。また2019年に行われたラグビーワールドカップの豊田スタジアムでの試合は大変盛り上がり、豊田市のおもてなしを世界に示すことができたと思います。
今後ラグビーで日本一になれるよう精進していくとともに、地域のみなさまに愛されるチームになつていきたいと思っていますので、引き続いだりがとうございます。

トヨタ自動車 ヴェルブリッツ

PROFILE

1941(昭和16)年創部。ジャパンラグビートップリーグに加盟するラグビーチーム。練習グラウンドは保見町にあるトヨタスポーツセンター。日本選手権優勝3回



Congratulations to Toyota City for its 70th anniversary.
The Toyota Rugby Team Verblitz has a long history together with Toyota City. The team is always warmly supported by the citizens of the City, and for this I would like to express my deepest thanks.
Together with Toyota City, we have been promoting the development of healthy young people through activities at the rugby academy, tag rugby school (Tag Blitz), etc. Also, the match at Toyota Stadium during the 2019 Rugby World Cup was very exciting, and I think we were able to show the world the hospitality that Toyota City has to offer.
We will continue to devote ourselves to becoming the best rugby team in Japan and strive to become a team that is loved by everyone in the local community. Thank you for your continued support.



タレント
里園侑希さん



PROFILE

豊田市出身のタレント。豊田ご当地アイドルStar☆T初代リーダー。“I LOVE 豊田”的精神で、豊田市を中心に司会・ラジオパーソナリティ・モデル等、マルチに活動。交通安全啓発事業も展開中

市制施行70周年おめでとうございます。私は地元豊田市で司会・ラジオパーソナリティとして活動しています。やすらぎと感動を与えてくれる美しい自然、世界に誇れるものづくり、笑顔で溢れる地元の人々、そんな豊田市が大好きです。これからも豊田市の魅力を市民の皆さんと共有しながら全世界へと発信していきたいと思います。今後とも宜しくお願いいたします。

Congratulations to Toyota City for its 70th anniversary. I am working as a presenter and radio personality in my hometown of Toyota City. I love Toyota, a city with beautiful nature that offers both tranquility and excitement, a manufacturing industry that citizens can be proud of even on an international level, and locals who always have smiles on their faces. My intention is to continue to share the charm of Toyota City with its citizens and let the world know about the City's charm as well. Thank you for your continued support.



劇団
笑劇派



PROFILE

1998(平成10)年9月に旗揚げし、今年で23年目を迎える。2017(平成29)年に劇団を法人化し、全国へ出張公演を展開。平戸橋町に専用劇場があり、「平戸橋ばっしとライブ」を開催中

豊田市制70周年心よりお祝い申し上げます。生の舞台から笑いと感動をお届けします!をモットーに、多くの学校や地域自治体にお招きいただき、旗揚げ23年、市民の皆様が私たちを育ててくれました。豊田市をもっと元気に!もっと笑いあふれるまちにできるよう、座員一同力を合わせて頑張っていきたいと思います。ご声援宜しくお願いいたします。

We would like to sincerely congratulate Toyota City for its 70th anniversary. With the motto "We deliver laughter and excitement from a live stage!" our theater group has been invited to many schools and local communities. The citizens of Toyota City have nurtured us since our group was founded 22 years ago. Let's make Toyota a more lively city! All the members of our theater group would like to do our best to make Toyota City a place where people can laugh more. Thank you for your support.

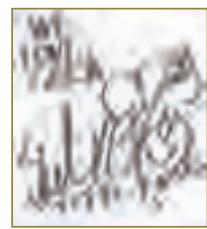
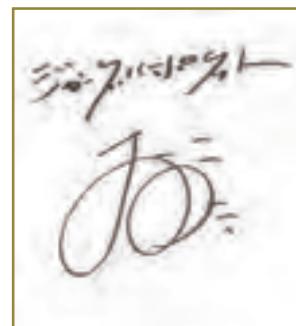


今は、豊田を離れ、東京での生活が長くなっていますが、豊田市で過ごした仲間や諸先輩方との思い出が、今でも元気を与えてくれます。
これからも「WE LOVE とよたスペシャルサポート」として、僕を育てくれた豊田市に少しでも恩返しができるようにPRしていくべきだと思ってます! 豊田市の益々の発展を応援してまいります!

お笑い芸人
太田 博久さん
(ジャングルポケット)

PROFILE

1983(昭和58)年愛知県豊田市生まれ。2006(平成18)年にお笑いトリオ「ジャングルポケット」を結成し、リーダーを務める。高い運動能力を発揮し、全日本マスターズレスリング選手権大会で日本代表に選出されるなど幅広く活躍中



シンガーソングライター
TUT-1026さん



マジシャン
ミステリック
SHINYAさん



PROFILE

豊田市出身のシンガーソングライター。2008(平成20)年にアルバム『エブリバディ』をリリースしてデビュー。現在も地元豊田市から全国に向けてメッセージを発信中

イエイエイ! 豊田市制施行70周年おめでとうございます! 都市部と自然のバランスの取れた優れた街、ここ豊田市に生まれ育ったことを非常に嬉しく思うと同時に大変誇りに思っています。成長を続ける素晴らしい街「豊田市」を市民の皆様と共に全国に知って頂けるようこれからも活動していこうと思います。WE LOVE とよた!!

Yaaay! Congratulations to Toyota City for its 70th anniversary! Toyota is a city with good balance of urban and natural charms. I feel gifted that I grew up in the City and pride myself for being so. I hope to let everyone know more about the great city of Toyota across Japan with all the citizens. WE LOVE Toyota!!

サポーターズからのメッセージ

「WE LOVE とよたサポーターズ」は、主に市内のイベントなどで、市の魅力や「WE LOVE とよた」の取組をPRしています。



豊田ご当地アイドル
Star☆T

PROFILE

2011(平成23)年ステージデビュー。以後豊田市を中心に東海地区~全国、海外でライブイベント、テレビ・ラジオに出演。全メンバー豊田市在住。詳しくは「豊田」アイドルで検索

市制施行70周年おめでとうございます。私たちは豊田ご当地アイドルとして、豊田の「元気」と「魅力」を全国に発信しています。私たちも2021年にデビュー10周年を迎えます。これまでの市民のみなさんの応援に感謝します。これからも豊田市とともに20年30年と活動を続けて、みなさんを“笑顔”にしていきたいと思います!

Congratulations to Toyota City for its 70th anniversary. As local idols from Toyota, we are letting the entire country know about Toyota's "vitality" and "charm." As a group, we will also celebrate the 10th anniversary of our debut in 2021. We thank all the citizens of Toyota City for all the support they have given us so far and would like to continue working with Toyota City for 20 to 30 more years to put smiles on everyone's faces!



シンガーソングライター
うたれん

PROFILE

「寄り添える音楽をあなたに」をキャッチコピーに活動するシンガーソングライター。豊田市内の観光PRソングや、ご当地アイドルへの楽曲提供など、多岐にわたり活動中

豊田市制施行70周年おめでとうございます。豊田市内8観光協会合同PRソングを歌っています、うたれんです。市民の皆さんのがいつでも笑顔で、自分の思う活動が出来る豊田市をこれからも応援させていただきます。学生の頃より過ごした豊田市が楽しい街になれるよう、微力ではありますが、これからも音楽でサポートさせて頂きます。

Congratulations to Toyota City for its 70th anniversary. My name is Utaren, the singer of the promotional song for Toyota City Eight Tourism Associations Union. I will continue to support Toyota City, a place where citizens can always smile and be themselves. Having spent time in Toyoda City as a student, I will continue to support the City through my music, even in a limited capacity, to make it an enjoyable town.

豊田市は私が芸人を目指すため上京する22歳まで過ごした、青春の思い出がパンパンに詰まった大切な故郷です。とくに子どもの頃から夢中で参加した挙母祭りでは、全力で楽器に取り組む姿勢、みんなで協力し準備して本番を成功させる喜び、目上の方が喜ぶお茶の濃さなど色々な事を学びました。

今は、豊田を離れ、東京での生活が長くなっていますが、豊田市で過ごした仲間や諸先輩方との思い出が、今でも元気を与えてくれます。

これからも「WE LOVE とよたスペシャルサポート」として、僕を育てくれた豊田市に少しでも恩返しができるようにPRしていくべきだと思ってます! 豊田市の益々の発展を応援してまいります!

市制施行70周年おめでとうございます!



WE LOVE
豊田スタジアム
の公園
夏は思いっきり水遊びが
できる!
山本まどかさん
喜介くん



70組の 「わたしの好きなとよた」

豊田市在住・在勤・在学の70組に、
とよたの好きなところを聞きました。



WE LOVE
名古屋グランパス
子どものサッカーに付き合って
うちにグランパスLOVE!
大ファンです。
伊藤輝幸さん



WE LOVE
下山わくわく
ファーム
下山に来ればやぎがいるよ。
祖父江聰明さん



WE LOVE
ラグビー
ワールドカップ最高のゲーム
でした。良いボランティアが
できました。
末廣幸二さん



WE LOVE
白浜公園
娘や愛犬と散歩に利用して
います。自然いっぱい、風も気
持ちいいです！
伊藤真貴さん
宇美ちゃん



WE LOVE
自然(香嵐渓)
一年中、自然が楽しめるこ
ころが大好きです。
中田みなみさん
奏くん



WE LOVE
挙母祭り
山車を曳き廻した後の感動
がやめられません！
青木輝文さん



WE LOVE
豊かな自然
気分転換として西山公園で
よく散歩しています。
塚本浩子さん



WE LOVE
足助の竹
足助は古くから竹の産地で
した。種類も多くとても質の
良い竹が育ちます。
梶達也さん



WE LOVE
豊田市消防団
親子で歌って踊って、防火・
防災啓発活動ができる消防
団が好き！
加藤聖加さん



WE LOVE
高月院と
松平東照宮
松平家発祥の地を訪ね、寺
院参詣と美しい花の観賞を
楽しんでいます。
中村千明さん



WE LOVE
佐切小学校の
うさぎ
佐切小学校で飼っている
うさぎがかわいい！！
市川明くん



WE LOVE
枝下用水
これからも枝下用水130年
の歴史を掘り起こしていくま
す！
達志保さん



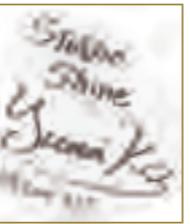
WE LOVE
フルーツ
都市と自然が融合した豊
田市には、季節の恵みがたく
さんあります。
藤田豊さん
蓮太郎くん



WE LOVE
豊南
自治区ごとに高齢者クラブ
が組織され、地域の核として
役割を果たしています。
稻垣令一さん



WE LOVE
自然
豊田市にはきれいな公園が
たくさんあります。
山田麻衣子さん
茉鳳ちゃん



ダンサー
YUMIKO さん

PROFILE

STUDIO Shine代表。市内でダンススクールを運営。自身もインストラクターとして活動するかたわらモデルとしても活動中。趣味は愛犬と一緒に旅行すること



ダンサー
松田政大 さん
(MASA)

PROFILE

2005(平成17)年より豊田市内にあるDCO DANCE STUDIOの代表。ダンス歴20年以上、指導歴15年以上という実績のもと、ダンサー、振付師、インストラクターとして活動中

市制70周年おめでとうございます。豊田市でキッズダンススクールを始めて約15年。地元イベントに毎年出演させていただき、地元の人々との交流を深めてきました。駅前再開発も進み「あそべるとよた」をスローガンに街全体で盛り上げている豊田市をとても誇りに思います。ますます発展できるようサポートアーズとして頑張っていきたいです。

Congratulations to Toyota City for its 70th anniversary. It has been almost 15 years since starting a kid's dance school in Toyota City. I have been fortunate to be invited to various local events every year and interact with the people of Toyota. I cannot stop to praise the efforts of the City to vitalize the entire city through the Asoberu Toyota Project which capitalize the re-development of area around the station. I will do my best as a supporter to contribute to the further development of the City.

市制施行70周年おめでとうございます。豊田市は、国際的な企業が多いせいか他の地域や海外から来た方々に対しても受け入れる姿勢があり、包容力のある街だと思います。工業都市のイメージが強いと思いますが、自然豊かで歴史も深い、人も温かく私の大好きなこの豊田市を、国内外から来られた方々にも好きになってもらえる様、尽力いたします。

Congratulations to Toyota City for its 70th anniversary. I think Toyota City is an inclusive city with a willingness to accept people from other regions and overseas, most likely because there are many international companies located in the City. Although I feel that it has a strong image of being an industrial city, I will do my best to make my beloved Toyota City, which is rich in nature, has a long history, and is home to warmhearted people, to make it popular among people from Japan and abroad.



アミューズメントチーム
D.O.M

PROFILE

2010(平成22)年に結成した、ふれあい型マイケルジャクソンアミューズメントチーム。「Just for the Smile ~ただそこにある笑顔のために~」を理念に掲げるエンタメ集団



ラジオパーソナリティ
甲田陽子 さん

PROFILE

豊田市在住の主婦パーソナリティとして活躍。毎の情報番組「ひる♥らぶ」火曜日と、日曜日「THEラブライブ! 演芸『楽市・落語』」のアシスタント担当。ラジオから笑いをお届け中！

市制70周年おめでとうございます。生まれ育った街の記念すべき時に、サポートアーズとしてここにいられる大変幸せに思います。僕たちみたいな小さな光にも、注目して挑戦させてくれるこの豊田市は、最高にイカした場所です。これからも、小さな笑顔をとりこぼさないパフォーマーとして、貢献していきます。

Congratulations on the 70th anniversary of Toyota City. We are very happy to be here as supporters at a memorable time in the City where we were born and raised. Toyota City is really the coolest place as it gives up and coming performers like us a chance. We will continue to contribute to the City as performers who will appreciate even the slightest level of satisfaction displayed by listeners.

豊田市70歳おめでとうございます！70年という時間の流れの中では、ほんの僅かな時間になると思いますが、声や音楽を通して多くの人の繋がりを感じています。これから先80年、100年と、時を重ねた豊田市が、今まで以上に、たくさんの人の笑顔と笑い声と音楽に溢れた場所になっていきますように！私たちも未来に向かって声をお届けしていきます♪

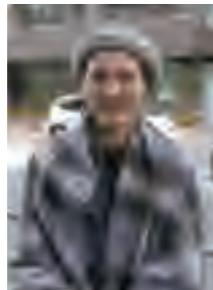
Congratulations to Toyota City for turning 70! Although we think of our years active as being a short time in comparison to a period of 70 years, we feel a connection with many people through voice and music. We hope that Toyota City will become a place full of smiling people, laughter, and music for the next 80 and even 100 years! We will also make our voices heard for the future♪



WE LOVE 総合診療

子どもからお年寄り、病院から在宅医療まで、豊田市の医療を支えます!

近藤敬太さん



WE LOVE 子育てに 優しいまち

豊田市は公園や子育てに関するサポートが充実しています。

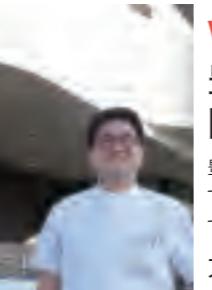
内山広子さん



WE LOVE 自然

猿投町や福受町で採れるフルーツがおいしい!

村松朋樹さん
かおりさん



WE LOVE 豊田地域 医療センター

豊田市を医療の面から健康で幸せなまちにしていきたいです。

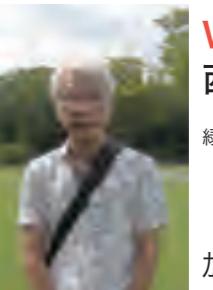
大杉泰弘さん



WE LOVE 桃

選果場でお安く買える桃が最高においしいです。

藤井亮児さん



WE LOVE 西山公園

緑が一杯!

加根魯澄夫さん



WE LOVE 鞍ヶ池公園

春夏秋冬、いつも子どもたちと遊びにいきます。自然最高!!

上山莉央さん



WE LOVE 勘八・平戸橋

子どもたちを心豊かに育ててくれた場所です。

花村善照さん



WE LOVE 足助のまちなみ

足助の昔ながらの細道や自然たっぷりの雰囲気が大好きです!

砂川由佳莉さん



WE LOVE 地元の友達

40年以上住んでいる中で、地元の友達とのつながりが大切だから。

千賀年紘さん



WE LOVE 中央公園

いつも公園の遊具で楽しんでいます!

石井梨紗ちゃん



WE LOVE 梨

娘が大好きです。猿投の梨を食べるのが楽しみです。

牛津梨紗さん
芙々季ちゃん



WE LOVE SENTAN

社会に役立つ新しいものをつくるために日々活動しています。

戸鹿島裕也さん



WE LOVE おいでん花火

花火をつまみにビールサイコー!!

中村由美さん



WE LOVE 豊田のお米

農家の皆さん、いつもおいしいお米をありがとうございます!

不破菜津子さん



WE LOVE トヨロック

無料なのはすごすぎる!

自慢です!

学校
先生が好き。友達たくさん。
千賀加奈子さん
茉凜ちゃん



WE LOVE いとカフェ

オリジナルクラフトコーラを飲みに来てください。

伊藤文彰さん



WE LOVE 山河に囲まれた 美しいまち

交通アクセスを充実させ、日本一の住み良いまちづくりが行われていると感じます。

都築孝良さん



WE LOVE 豊田市民の誓い

緑や山河が多く、豊かな文化があり、あたたかい住みよいまちが最高。

村田美智子さん



WE LOVE 香嵐渓

いつもの散歩ルートです。空気がおいしくて、四季折々の魅力があります。

齋藤卓也さん



WE LOVE さんそん

豊田市の自然が大好き。

岩瀬浩司さん



WE LOVE 自動車

お父さんが自動車をつくっています!!

市川大智くん



WE LOVE RADIO

豊田のラジオ局「エフエムとよ」は面白い番組ばかり!ぜひ聴いてください。

藤井良紀さん



WE LOVE 五平もち

下山の五平もちがおいしくて大好き!

中倉絵莉さん
凛ちゃん



WE LOVE 地域文化広場

子どもと室内アスレチックで遊んでいます。

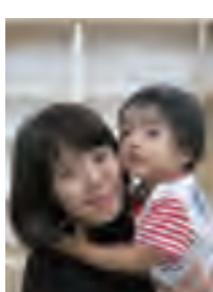
外山恵理子さん
翔大くん



WE LOVE 住みやすい街

都会的な所と自然がバランスよくあり、子育て支援も充実しています。

岡田智貴さん



WE LOVE 鞍ヶ池公園

自然いっぱい一日中遊べます。

平澤佑子さん
晴斗くん



WE LOVE EAT

なし・もも・お米など、豊田市産のものを給食に使ってくれてありがとう。

宇井千春さん



WE LOVE 交通公園

(豊田市交通安全学習センター)SLやゴーカート、いろいろな自転車に乗ってたくさん遊べる大好きな場所です。

西山有美さん
航平くん



WE LOVE Fujioka

藤岡地区は空気がおいしいです!

郡山真喜子さん



WE LOVE ちょうどいい

車でも、電車でも、徒歩でも、住むにも、仕事にも、子育てももちろんちょうどいいところ!

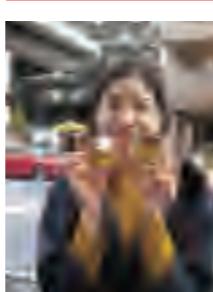
市川暢啓さん



WE LOVE 四季桜

見るのが楽しい!

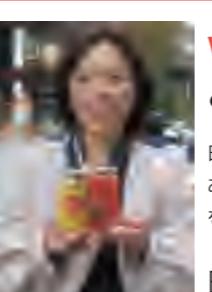
鵜飼淳子さん



WE LOVE 猿投神社

毎年、猿投神社でおいしいはちみつを採取しています!

酒井茉由さん



WE LOVE とよた里山

日本古来の古き良きまち、緑あふれる田園風景の中で仕事をしていると心洗われます。

田中都恵さん



WE LOVE 豊田大橋

未来都市に来た感じ。スタイルリッシュで散歩にも最適です。

太田喜久夫さん



WE LOVE ライフ

環境が良く住みやすい豊田の生活が大好き!

神戸哲さん

ミライへの 挑戦



「ミライのフツー」とは

持続可能な社会に近づいているであろう、少し先の未来。そこで当たり前になっているモノ・コトを「ミライのフツー」と捉え、その実現に向けて豊田市は先進的な取組を推進しています。

2013(平成25)年～ミライのフツーを目指そう

「ミライのフツーを目指そう」をスローガンとして、「ハイブリッドシティ・とよたプラン」をベースに交通・産業・森林・都心・民生の5分野を中心に未来志向のプロジェクトを推進しました。

2018(平成30)年～ミライのフツーをつくろう

2018(平成30)年にSDGs未来都市に選定されたことを機に、スローガンも「目標」から「つくろう」へとステップアップ。構想するだけではなく、実際にアクションしていくという意志が込められています。市民、企業・団体、行政がつながり合って、SDGs達成に向けて行動を起こしています。

「ミライのフツー」の実現に向けたアクションの事例をご紹介します。

- P.31 Action 1 モビリティのミライ
- P.32 Action 2 ものづくりのミライ
- P.33 Action 3 地域づくりのミライ
- P.34 Action 4 いなか暮らしのミライ

Lungsod ng Toyota: Isang Lungsod ng Patuloy na Progreso

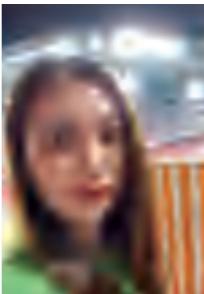
Noong 2009, pinili ng pamahalaan ng bansang Hapon ang Lungsod ng Toyota bilang Lungsod na Modelong Pangkallikasan na naghahangad na makamit ang isang lipunang mababa sa karbon. Magmula noon, naging layunin namin na maging makakalikasan na lungsod kung saan nagkakaisa ang mga tao, kalikasan, at teknolohiya sa pamamagitan ng paggawa ng iba't ibang aktibidad na nakatuo sa limang haligi ng Trapiko, Industriya, Kagubatan, Sentro ng Kaunlaran, at Tirahan batay sa Plano na Pinaghalu-halo na Lungsod ng Toyota (Hybrid City Toyota Plan). Napili rin ang Lungsod bilang SDGs Lungsod sa Hinaharap (SDGs Future City) noong 2018 bilang nangungunang munisipyo sa pagharap sa mga SDG. Sa pagharap sa bagong hamon na ito, magpapatuloy ang Lungsod ng Toyota na magusumikap sa paglikha ng "Lungsod sa Hinaharap na Toyota" (Future City Toyota) kung saan masisiyahan ang bawat isa sa kanilang buhay batay sa islogan na "Ang mga Pamantayan Bukas, Ngayon".

ミライのフツーをつくろう

豊田市は2009(平成21)年、低炭素社会の実現を目指す「環境モデル都市」として国から選定されました。以来、「ハイブリッドシティ・とよたプラン」のもと、「交通」「産業」「森林」「都心」「民生」の5分野を軸に多様な取組を進め、人と環境と技術が融合する環境先進都市を目指してきました。そして、2018(平成30)年、SDGsに先導的に取り組む自治体として「SDGs未来都市」にも選定され、新たな一步を踏み出しています。SDGsとは、国連で採択された持続可能な開発目標のことです。貧困や差別の撲滅、気候変動対策など、世界中の人々が一丸となって達成すべき17の目標が定められています。豊田市は「ミライのフツーをつくろう」を合言葉に、誰もが心豊かに生きられる「SDGs未来都市とよた」の実現に向けてチャレンジを重ねています。



WE LOVE
あいあい
(とよた子育て総合支援センター)
木のおもちゃがたくさんあって楽しいです。
武田彩乃さん 隆玄くん



WE LOVE
豊田スタジアム
スポーツ観戦やライブ等各種イベントが行われる豊スタが好き!
小笠原悠さん



WE LOVE
Toyota
自然が豊かで、地域の皆様が温かいToyotaが大好きです。
川上竜一郎さん



WE LOVE
松嶋会
(荒井町高齢者クラブ)
今のがあるのは、この松嶋会のおかげ。松嶋会に入会し、地域貢献ができると思います。
田中桂子さん



WE LOVE
名古屋グランパス
ホーム試合は毎回スタジアムで応援しています!!
上田梨奈さん



WE LOVE
anam
人や地球にやさしいお買い物ができる!
稻熊なつみさん



WE LOVE
みどりがいっぱい
子ども達とピクニックをよくしています。
柴田磨奈さん 優花ちゃん



WE LOVE
Toyota Street Market
多くの人が集まる、賑やかなイベントが好き。
平翔次さん



WE LOVE
鞍ヶ池
子どもが遊べるところがたくさん!
倉地沙代子さん 恵麻ちゃん



WE LOVE
ふじの回廊
ふじの花と香りに包まれながら、多彩なイベントを楽しめるので毎年見に行っています!!
久太才譲さん



WE LOVE
香嵐渓
新緑や紅葉などの綺麗な景色が見られるので大好きです!
加納嘉乃さん



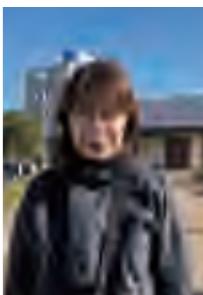
WE LOVE
TIA
(豊田市国際交流協会)
日本人も外国人もみんなでつくる、あたたかい街・豊田。
豊田彬子さん



WE LOVE
休日
飲食店などが集まっていて、おいしいものがたくさん!
餅原正宗さん



WE LOVE
やすらぎの里 古瀬間
御嶽神社の山頂から見渡す景色、満開に咲くつじは、まさにやすらぎの里。
久米光春さん



WE LOVE
桜城址公園
城址や桜の木がある、とよたのまちなかの憩いの場。マーケットもあります。
中井久美さん



WE LOVE
鞍ヶ池
動物園などいろいろなものがあるところがお気に入り!
市川等作さん



WE LOVE
やまのぶ
高校時代、学校帰りによく行きました。
栗津雅耶さん



WE LOVE
どんぐりの湯
露天風呂でゆったりとした時間を過ごしています。いつもありがとうございます。
佐野琢也さん

ものづくりのミライ

Action 2

ものづくり創造拠点 SENTAN

ミライへの
挑戦



[NEWS]

新たな水素ガスの製造方法を 塾生たちが発明

「ものづくりミライ塾」第1期生水素チームの塾生と指導員が、家庭用水素発生・発電装置の開発過程で「新たな水素ガスの製造方法」を発明しました。豊田市が特許を出願し、2020(令和2)年6月に三河地域の自治体では初となる特許権を取得しました。

Nanghihikayat ng pagbabago ang paglinang ng mga tao.

Ang Saligan ng Pagkamalikhain ng Monozukuri (Monozukuri Creative Base) na SENTAN ay isang sentro para sa mga taong nagtrabaho sa pagmamanupaktura pati na rin mga negosyante at kompanyang gustong gumawa ng mga bagong proyekto at negosyo. Nag-aalok ang sentro na ito ng Gawaan ng Monozukuri sa Hinaharap kung saan nakikilahok sa pagbuo ng produkto ang mga nakabatang teknikal na tauhan mula sa iba't ibang industriya habang nagdaraos ng mga seminar at pagsasanay upang pukawin ang interes ng mga bata sa pagmamanupaktura at iba't ibang kaganapan upang linangin ang mga yamang tao kung kanino ipinagkatwala ang kinabukanan ng Lungsod ng Toyota. Nangyayari lamang ang mga pagsisikap na ito dahil sa malalim na ugnayan ng Lungsod ng Toyota at pagmamanupaktura. Pinangangalagaan ng SENTAN ang potensyal ngayon para sa bagong inobasyon bukas.

人づくりが、 イノベーションを起こす

ものづくり関連の仕事に就く人や起業を志す人・団体などが集まる場所「ものづくり創造拠点 SENTAN」。人やアイデアをつなげる「交流スペース」、アイデアをカタチにする「ものづくりスペース」のほか、セミナールーム、サイエンスルームがあり、異業種交流、アイデア創出、試作開発、情報発信、人材育成などに活用されています。2019(令和元)年度の利用者数は1万2,000人以上、登録団体は2020(令和2)年10月末時点で53団体。利用者・登録団体とともに年々増加しています。

いつの時代も、イノベーションを促すものは「人の発想力」。ものづくりにとって大切なことは「人づくり」です。そこで、SENTANでは、異業種の若手技術者が集まって製品開発に励む「ものづくりミライ塾」をはじめ、子どもを対象としたものづくりイベントなど、豊田市のミライを担うものづくり人材を育成しています。こうした取組は、ものづくりのまち豊田市だからこそできること。SENTANでは今日も新たなイノベーションの芽が育っています。

モビリティのミライ

Action 1

株式会社SkyDrive

ミライへの
挑戦



空飛ぶクルマの開発・実用化に挑む、株式会社SkyDrive代表・福澤知浩さん

TOPIC

福澤さんは「WE LOVE とよたスペシャル
サポーター」としても活躍いただいている。



Ang bagong henerasyon ng paglalakbay ang nagbubukas ng mga lansangan para sa lumilipad na mga sasakyen.

Sinasabing ang ginagawang mga lumilipad na sasakyen sa buong mundo ay isang inobasyon sa pagkilos matapos maimbento ang mga kotse at eroplano halos 100 taon na ang nakaraan. Ang SkyDrive Inc. ay kasalukuyang gumagawa ng isang lumilipad na sasakyen dito mismo sa Lungsod ng Toyota. Nagtagumpay ang paulit-ulit na paggawa at pagsubok sa paglipad ng sangkalimang sukat ng sasakyen sa ligtas at matatag na paglipad noong 2020 sa pamamagitan ng daan-daang pagsubok sa paglipad sa isang modelong pagpapalipad ng tao. Isusulong ng SkyDrive ang paggawa at pagbebenta ng mga sasakyen ito sa hinaharap sa isang proyektong umaasang maghahati ng mga lumilipad na sasakyen sa mundo mula sa automotive na lungsod ng Toyota.

空飛ぶクルマが拓く、 「移動」の新時代

自動車や航空機以来、およそ100年ぶりのモビリティ革命といわれ、世界各国で開発が進められている「空飛ぶクルマ」。電力で動き、完全自律の自動操縦や垂直離着陸を特徴とする新しいモビリティです。日本におけるリーディングカンパニーは、株式会社SkyDrive。豊田市を拠点に、空飛ぶクルマの開発・実用化プロジェクトに取り組んでいます。2020(令和2)年8月には、足助地区にあるテストフィールドで空飛ぶクルマの有人飛行試験を世界初公開しました。

株式会社SkyDrive代表・福澤知浩さんは「豊田市は、新しいものづくりを後押しする環境が整い、地域の方々も応援してくれます。『空が日常的に使えるミライ』を見据え、革新的なエアモビリティを実現させます」と力強く語ります。次世代の産業分野として期待され、都市部の渋滞緩和、離島・山間部の移動手段、救急医療・災害対応などの活用が想定される、空飛ぶクルマ。より快適で安心なモビリティのミライが、新たに拓かれようとしています。

いなか暮らしのミライ

ミライへの
挑戦

Action 4

敷島自治区



敷島自治区の宝物である、美しい田園風景と山並み。定住促進に力を注ぎ、山村振興が進んでいます。

山里の美しい風景を、みんなで守り継ぐ

愛知高原国定公園の西端に位置する敷島自治区は、かつて市内で最も過疎の深刻な地域でした。この課題に対処するため立ち上がったのが地域住民たちです。2010（平成22）年に地域の将来ビジョンを策定した上で、空き家の整備や移住希望者との交流会の開催などを実施。10年間で40世帯98人の移住者を受け入れ、交流人口も年間5,000人に上りました。地域全体を巻き込んだ取組は、総務省が選定する「令和2年度過疎地域自立活性化優良事例表彰」の最高賞「総務大臣賞」に輝くなど、全国的にも高く評価されています。

移住者の多くは子育て世代で、山里の豊かな自然が気に入っています。敷島自治区の美しい田園風景や山並み、文化などは、先人たちが農業や林業を営む中で形づくられてきた地域の宝物。その一つ一つを次代に残していくための活動も住民主体で行うなど、「一人一人が大好きな敷島自治区をより良くしていきたい」という思いを分かち合い、笑顔あふれるミライに向かって、新たなチャレンジを重ねています。



「総務大臣賞」の受賞を市長に報告しました。

Pinangangalagaan at dumadaan ang bawat isa sa magandang tanawin ng bundok.

Ginawa ng Distrito ng Shikishima ang Plano ng Shikishima Tokimeki noong 2010 bilang paglalarawan sa bisyon para sa rehiyon. Nakikahagi ang lokal na komunidad sa mga pagsisikap sa buong rehiyon gaya ng pagkukumpuni ng mga bakanteng bahay at pagdaraos ng mga pagtitipon para sa mga tao na gustong lumipat sa lugar. Sa nakalipas na sampung taon, natulungan ng plano ang 98 tao na lumipat sa 40 sambahanan at tinipon ang 5,000 tao taon-taon sa mga kaganapang pagpapalitan ng komunidad. Nagkakaisa ang mga residente para paunlarin ang Distrito ng Shikishima at patuloy na harapin ang mga hamon upang maisakutuparan ang kinabukasan puno ng mga ngiti.

地域づくりのミライ

ミライへの
挑戦

Action 3

つくラッセル



旧築羽小学校の校舎を活用した、地域づくりを担う人材創造拠点「つくラッセル」



Lumilikha ang Toyota ng sustenableng rehiyon na nagkakaisa.

Ginagamit ng Tsuku-Rassero ang mga nagsara nang paaralan bilang mga paupahang opisina para palawakin ang ugnayan sa pagitan ng mga tao at ng rehiyon. Umaasa kaming makapagtatag ng kinabukanan kung saan makakamit ang balanse sa pagitan ng trabaho at buhay at gayundin, magagamit ng mga tao ang kaniliang talento at maibahagi sa isat'isa. Nagsisilbi rin ang mga lugar na ito bilang Gawaan ng Pagsasanay sa Bundok (Mountain Training Workshop) para sa mga aktibidad upang itaguyod ang mga sasakyang sadyang malit para sa paglibot sa kakahuyan na sumusuporta sa ligtas at matatag na paglalakbay sa mga nayon at mabundok na rehiyon, mga pag-aaral sa pagpuputol ng paggatong mula sa tira-tirang punong-kahoy sa lokal na gubat, at pag-aaral sa tradisional na pamumuhay at kaugalian ng rehiyon.

持続可能な地域を、みんなでつくる

旭地区の山あいに佇む3階建ての建物は、少子化の影響で2012（平成24）年に廃校となつた築羽小学校の校舎です。137年間の歴史ある学校は、地域みんなの拠り所でした。その大切な学び舎が2018（平成30）年、地域づくりを担う人材創造拠点「つくラッセル」として再スタートしました。

「暮らし」と「仕事」が両立できる。誰もが互いの得意を持ち寄って生かし合える。そんなミライを目指すつくラッセルでは、この地区に昔から住む人々、移住者、都市部の企業・研究機関など、多様な主体が関わり合つて活動を開拓。山村地域での安全・安心な移動をサポートする超小型モビリティ「里モビ」の普及活動、地域の間伐材を活用した薪づくり、地域に昔から伝わる生活や文化を学ぶ「山里手習い塾」などの拠点になつています。また、テレワーク環境も整備され、地域住民にとつてライフスタイルの選択肢を増やす場所にもなつっています。地域に根ざし、多くの人と人との関係を育んでいるつくラッセル。誰もが自分らしく輝ける地域のミライが、ここから築かれていきます。



英国

ダービーシャー県／ダービー特別市／南ダービーシャー市

The 70th anniversary of Toyota City.

A message from

Derbyshire County Council / Derby City Council / South Derbyshire District Council / and Toyota City Partnership Board
It is a great honour for the three sister councils in Derbyshire and Derby to be invited to make a contribution to this anniversary brochure. The friendship which all three share with Toyota City Council has deepened the cooperation between us; in 2018, to celebrate the 20th anniversary of our friendship with Toyota City we created the Toyota City Partnership Board.

This friendship has shown that we have a great deal in common. By getting to know each other better we have discovered more connections. Historically we both have silk production in our past. When your city was called Koromo it produced silk and we have the Derwent Valley Mills World Heritage Site running along 15 miles of the river Derwent which produced cotton and silk in the 19th century.

Now we both have close connections with the Toyota Motor Corporation and are both working with them on mobility innovations for the future.

We share with you a concern for environmental sustainability and a love of forests. You have the Forest of Toyota and we have the National Forest which covers part of our area. In the future we would like these forested areas to learn side by side and combat climate change together. We are also very fortunate to have been gifted 163 Sakura cherry trees by businesses in Japan as part of the Japanese Season of Culture in the UK. One hundred of these trees will be planted in public spaces in each of the three council areas so that we can begin to appreciate Hanami, and 63 schools will each have one tree. Through these trees we hope to grow the roots of a stronger friendship.

Over the 22 years of our friendship, school and college exchanges have created many opportunities for our young people and we look forward to starting these exchanges again when it is safe to do so. We are also planning to increase the range of opportunities using virtual technology so that younger pupils may also develop friendships. During Covid-19 our partner college, Burton and South Derbyshire College has developed a virtual platform and we will use these skills to create exchange experiences. In South Derbyshire the Repton School continues to have strong links with Toyota Nishi High School. We have also grown strong ties between the University of Derby and Chukyo University which are working together in a research collaboration on Nature Connectedness – the wellbeing we feel when we are connected to nature.

2019 was a year of rugby and we were very proud to be able to display something of our sporting heritage during the time of the Rugby World Cup in Toyota City. We have strong links with football and have been able to share some of this experience with visitors from Japan and to invite pupils from the Derbyshire Japanese School to walk England players out onto the Wembley Stadium pitch at the start of a recent international match. Shared sporting experience is at the heart of many friendships. This friendship is increasingly important to us as we face the future. We are living in a time of uncertainty and rapid change and we all need to work together to solve problems, learn from one another and make progress together. Only by reaching out do we become stronger. So this is a wonderful time to celebrate the 70th anniversary of Toyota City and stand proud to be counted as your friends into the future. We congratulate you.


ダービーシャー県(Derbyshire County)
代表者: バリー・ルイス (Councillor Barry Lewis)
肩 書: ダービーシャー県リーダー(Leader of Derbyshire County Council)

豊田市70周年のお祝いメッセージ

ダービーシャー県／ダービー特別市／南ダービーシャー市／豊田市パートナーシップ推進協議会
姉妹都市であるダービーシャー3自治体が、この記念誌への寄稿を依頼されたこと、大変光栄に思います。豊田市との友情が互いの協力関係を深め、2018年に姉妹都市提携20周年を記念してダービーシャー3自治体は「豊田市パートナーシップ推進協議会」を設立しました。

豊田市とダービーシャーには、多くの共通点があります。お互いのことをより知ることで、さらなるつながりを発見しました。「拳母」と呼ばれていた時代、豊田市は絹を生産し、そしてダービーシャーも19世紀に綿と絹を生産していました。ダーウェント川流域に「ダーウェント峡谷の工場群」という世界遺産があります。

現在、ダービーシャー3自治体は英国トヨタ自動車と密接に関わり合い、将来に向けたモビリティ革命に取り組んでいます。私たちは、地球環境の持続可能性への懸念と森林への愛着を共有しています。豊田市には豊かな森林があり、ダービーシャーにも広大なナショナルフォレストがあります。将来的には、私たちの森で共に学び、気候変動と一緒に立ち向かうことを望んでいます。また、日英文化季間活動の一環として、日本企業から英国に163本の桜の木が贈られたことは、とても幸せなことだと感じています。これらの桜の木は公共スペースに100本植えられ、花見が楽しめます。63の学校にも1本ずつ桜の木が植えされました。桜の木々を通して、私たちは日本や豊田市と、より強い友情を育てたいと思っています。

22年間の友情の中で、学校や大学の交流は若者たちに多くのチャンスを生み出してくれました。安全な時期にこれらの交流を再開できることを楽しみにしています。また、子どもたちも友情を育むことができるよう、バーチャルテクノロジーを使用して交流の幅を広げることを計画しています。コロナ禍において、私たちのパートナーカレッジであるバートン＆サウスダービーシャーカレッジはバーチャルプラットフォームを開発しました。これらのスキルを活用して親交を深めたいと考えています。南ダービーシャー市のレブトンスクールは、引き続き豊田西高校と強いつながりを持ち続けます。また、ダービー大学と中京大学は、メンタルヘルスと自然に関する共同研究を行い、強い絆を築いています。

2019年はラグビーの年でした。豊田市で開催されたラグビーワールドカップの期間中、英国のスポーツ文化の一部を豊田市で展示できたことを非常に誇りに思います。サッカーと強いつながりがある私たちは、国際試合が行われるウェンブリースタジアムにダービーシャー日本人補習校の生徒を招待しました。共にスポーツに熱中する体験は、友情を大きく育みます。

私たちが未来に向かうにつれて、豊田市とダービーシャー3自治体の友情はますます重要なものになっています。私たちは不確実で急速に変化する時代に生きており、問題を解決し、互いに学び、共に進歩するためにみんなが協力する必要があります。手を差し伸べ合うだけで、私たちは強くなります。豊田市の70周年を祝う素晴らしい時に、姉妹都市であり続けることを誇りに思います。おめでとうございます。


ダービー特別市 (City of Derby)
代表者: クリストファー・ポルター (Councillor Christopher Poulter)
肩 書: ダービー特別市リーダー (Leader of Derby City Council)



豊田市パートナーシップ推進協議会※(Toyota City Partnership Board)
代表者: トニー・キング (Councillor Tony King)
肩 書: 豊田市パートナーシップ推進協議会代表 (ダービーシャー県議会議員)
(Chair of the Toyota City Partnership Board
(Councillor of Derbyshire County Council))



※豊田市パートナーシップ推進協議会／2018(平成30)年、姉妹都市提携20周年を記念して設立。豊田市とダービーシャーが、様々な共通目標の分野で共に活動する組織で、ダービーシャー3自治体のリーダー等の関係者、ダービー大学、バートン＆サウスダービーシャーカレッジ、英国トヨタ自動車、ナショナルフォレスト等、双方の友好関係のさらなる発展に関わる団体の代表者等で構成されている。



姉妹都市からのメッセージ

豊田市は「クルマ」をキーワードに2か国・4自治体と姉妹都市提携を結んでいます。

1960(昭和35)年9月に米国デトロイト市と、1998(平成10)年11月に英国ダービーシャー3自治体と姉妹都市提携を結び、交換学生の派遣・受け入れや互いのまちへの訪問などを通じて交流を深めてきました。

豊田市が70周年を迎えるにあたり、デトロイト市とダービーシャー3自治体それぞれから温かなお祝いのメッセージが届きました。



米国 デトロイト市

It is my pleasure to join with the citizens of Toyota City and Detroit in celebrating such a momentous occasion – the 60th anniversary of our Sister Cities relationship. I am grateful for the commitment that has been demonstrated for six decades and led to many lifelong relationships and partnerships.

Even during this time when the world is faced with a pandemic that has changed how we live and work, it is good to be reminded of the importance of relationships, such as ours.

The individuals who have participated in the student exchange program, and educational and cultural exchanges point to their experiences in Toyota City and Detroit as being highlights of their lives.

It is my hope that the bond between our two great cities will continue to flourish and be the foundation for meaningful exchange of ideas and culture for decades to come. Congratulations on this wonderful anniversary!


デトロイト市(City of Detroit)
代表者: マイク・ダグアン(Mayor Mike Duggan)
肩 書: デトロイト市長(Mayor of City of Detroit)



姉妹都市提携60周年という重要な節目を迎えて、豊田市とデトロイト市の市民が一緒にお祝いできることを嬉しく思います。60年間にわたって継続され、長い時間をかけて築かれた関係と提携に基づくパートナーシップに感謝しています。

世界中の生活や働き方を変えたパンデミックに直面しているこの時期、私たちのような友好関係の大切さを再認識しています。交換学生事業や教育・文化交流に参加した人々は、豊田市やデトロイト市での経験が人生においてとても輝かしいものだと感じています。

両都市の絆がさらに強く結ばれ、今後数十年にわたるアイデアと文化的有意義な交流の基盤となることを願っています。

市制70周年、おめでとうございます！

豊田市 名誉市民



とよだ しょりょう
豊田 章一郎

2011(平成23)年3月5日推挙
2007(平成19)年11月3日桐花大綬章

社団法人経済団体連合会会長等を歴任、日本を代表する経営者として我が国産業経済の興隆及び本市発展に大きく貢献した。



うらの やすおき
浦野 然興

2013(平成25)年3月2日推挙
2012(平成24)年4月29日旭日重光章

衆議院議員、科学技術庁長官(国務大臣)。1979(昭和54)年から衆議院議員に6期連続当選。国とのパイプ役として活躍し、市の発展に貢献した。



すずき こうへい
鈴木 公平

2013(平成25)年3月2日推挙
2013(平成25)年4月29日旭日中綬章

7代目豊田市長。2000(平成12)年から3期12年にわたって、7市町村合併、都市内分権や市民と行政の共働によるまちづくりの推進など、市の発展に貢献した。



くらち としひこ
倉知 俊彦

2016(平成28)年3月5日推挙
2011(平成23)年11月3日旭日中綬章

愛知県議会議長。1971(昭和46)年から11期44年にわたり愛知県議会議員を務め、地域の発展と住民福祉の向上に尽力し、市の発展に貢献した。



やまうち いっせい
山内 一生

2018(平成30)年3月3日推挙
2007(平成19)年4月29日旭日小綬章

豊田小原和紙工芸作家。小原和紙を美術工芸品として芸術性を高めるとともに、その名を国内外に広めるなど市の産業・文化の進展に貢献した。



ふじしま あきら
藤嶋 昭

2021(令和3)年3月6日推挙
2003(平成15)年11月3日紫綬褒章
2017(平成29)年11月3日文化勳章

東京理科大学栄誉教授。「光触媒」を世界で初めて発見。「光触媒」の研究成果による科学技術や産業文化の発展への貢献に加え、市の人材育成や教育振興に貢献した。



にしやま たかし
西山 孝

1990(平成2)年3月3日推挙
1994(平成6)年4月29日勲四等旭日小綬章



たかはし せつろう
高橋 節郎

1998(平成10)年3月7日推挙
1986(昭和61)年4月29日勲三等瑞宝章
1997(平成9)年11月3日文化勳章



とよだ えいじ
豊田 英二

2000(平成12)年3月4日推挙
1990(平成2)年11月3日勲一等旭日大綬章



とよだ かずこ
豊田 壽子

2000(平成12)年3月4日推挙



とよだ けいぢろう
豊田 喜一郎

2001(平成13)年3月3日推挙
1952(昭和27)年4月勲四等瑞宝章



かとう まさよし
加藤 正一

2001(平成13)年3月3日推挙
2001(平成13)年11月3日勲四等旭日小綬章

6代目豊田市長。1988(昭和63)年から3期12年にわたり福祉の増進、中核市にふさわしい交流基盤の整備など、本市の発展に貢献した。



ながさか ていいち
長坂 貞一

1968(昭和43)年12月15日推挙
1964(昭和39)年10月21日藍綬褒章



うらの さちお
浦野 幸男

1977(昭和52)年3月1日推挙
1977(昭和52)年1月17日勲一等瑞宝章



ほんだ しづお
本多 靜雄

1977(昭和52)年3月1日推挙
1964(昭和39)年4月20日藍綬褒章
1973(昭和48)年11月3日勲二等瑞宝章



さとう たもつ
佐藤 保

1977(昭和52)年3月1日推挙
1983(昭和58)年11月3日勲四等瑞宝章



くらち けいたろう
倉知 桂太郎

1985(昭和60)年3月2日推挙
1985(昭和60)年4月29日勲四等旭日小綬章



さかい すずお
酒井 鈴夫

1985(昭和60)年3月2日推挙
1987(昭和62)年4月29日勲三等瑞宝章

愛知県議会議長。県議会議員に5期連続当選。自動車工場の誘致や土地改良事業など、市の活性化に尽力した。

